
学修のQ&A

大学での学修は高校までと違う仕組みもあります。これまで経験したことのないような状況がはじめて訪れ、戸惑ってしまうことも少なくありません。

そこで、よくある質問をQ&Aにしました。

- Q 1. 単位って何ですか？
- Q 2. 時間割はどうやって決めたらいいですか？
- Q 3. 選択科目は自由に選んで大丈夫ですか？
- Q 4. 履修登録を変えたい場合、どうしたらいいですか？
- Q 5. 授業には何を準備したらいいですか？
- Q 6. 授業についてわからないことはどうしたらいいですか？
- Q 7. 授業を休む時はどうしたらいいですか？
- Q 8. 遅刻をしてしまいました。どうしたらいいですか？
- Q 9. 出欠状況はどのように確認したらいいですか？
- Q10. 単位を修得できなかった場合、どうなりますか？
- Q11. ホームルームはないのですか？
- Q12. 空き時間はどうやって過ごせばいいですか？
- Q13. 大学の先生は何と呼びかけたらいいですか？
- Q14. 研究室を訪ねたい場合、どうしたらいいですか？
- Q15. 大学から直接学生へ連絡が来ることはありますか？
- Q16. 試験はどのようにおこなわれるのですか？
- Q17. 試験が不合格でした。どうしたらいいですか？
- Q18. 試験を受けられない場合、どうしたらいいですか？

Q1. 単位って何ですか？

A1. 単位とは、科目の履修を認定する証のようなものです。つまり、「卒業」＝「必要な単位がすべてそろった」ということです。あまり意識はされないのですが、高校でも単位というかたちで履修の認定がなされていました。単位の修得には、各科目に求められる評価基準を満たすことが必要です。どのような評価基準が設定されているかは、授業ガイダンスやシラバス、開講時の説明などで確認することになります。周囲から「〇〇先生の科目は単位がとりにくい」などの噂が耳に入るかもしれませんが、気にする必要はありません。特に選択科目の決定では、あくまでも自分の興味を第一の基準としましょう。

Q2. 時間割はどうやって決めたらいいですか？

A2. 時間割は優先順位に従って埋めていくことになります。まず、科目区分のうち、「必修」とされているものから時間割を埋めていきます。それから、空いている時間に「選択」科目を入れていきます。

ところで、大学の授業では、予習や復習、さらに課題に取り組む時間など講義外の学習分も履修時間に見込んでいます。時間割に空きがあるからと科目を詰め込みすぎると、それらの時間を十分にとることができなくなってしまうので注意が必要です。それぞれの科目が消化不良になってしまうのを避けるため、本学では各年度の履修上限（「CAP制」）を設定しています。確実に単位を修得していけるよう、無理のない履修計画を心がけましょう。

Q3. 選択科目は自由に選んで大丈夫ですか？

A3. 選択科目は、文字通り、皆さんが興味に合わせて選択するべきものです。ただし、選択科目の修得では、「科目区分」という領域ごとに設定された最低限の履修要件を満たすという条件があります。また「選択」であっても、専門職の特性から履修することが望ましいと考えられている科目もあります。初めての履修に際しては、学生担当教員とよく相談したほうがよいでしょう。

Q4. 履修登録を変えたい場合、どうしたらいいですか？

A4. 各学期に設定されている履修登録変更期間に限り、「履修辞退」や「履修変更」が可能です。「履修放棄」しても卒業時の成績表に反映されることはありません。ただし、その科目を履修しないことで「科目区分」の履修要件を満たせなくなるというケースがあるため、あとで困ることにならないかどうか、よく確認しましょう。また「履修変更」をした場合、変更を決める以前に開講された分は欠席したものと扱われることになります。内容的にも自分でフォローするという心構えが必要です。

Q5. 授業には何を準備したらいいですか？

A5. その授業がどのようなスタイル（⇒第2章「ノートをとる」参照）かによります。筆記用具は最低限必要ですが、それ以外についてはシラバスや科目担当教員の指示に従ってください。また、教科書の指定がある場合は必ず最新版を購入するものとし、他人から譲り受けたものや古本を使用することは避けましょう。内容や構成が変わっていて困ることがあります。

Q6. 授業についてわからないことはどうしたらいいですか？

A6. 基本はその科目の担当教員に質問することです。しかし、質問の際には、何がわからず、何を聞きたいのかを明確にしてからでなければ、必要な情報を受け取ることは難しくなります。あらかじめ疑問点を自分で整理してからにしましょう。

Q7. 授業を休む時はどうしたらいいですか？

A7. 講義の欠席は単位の修得条件に直接影響します。できるだけ避けなければなりません。とはいえ、やむを得ない事情により欠席することもあります。その場合は、できるだけ早く事務局に届け出ましょう。別に書類の提出が必要となることもあります。もちろんその場合も、授業を聞かなかったことには変わりはありません。不足

分のフォローを自分ですることが求められます。

Q8. 遅刻をしてしまいました。どうしたらいいですか？

A8. 遅刻した場合、後部のドアから静かに入室するなど、他の受講者の迷惑にならないことを第一に心がけましょう。特に着席後、配布済み資料の入手や進度の確認などをする際には、講義の進行を中断しないよう配慮してください。また、遅刻の取り扱いは講義によって異なる場合があります。授業後に必ず科目担当教員へ遅刻の理由を伝えるようにしましょう。

Q9. 出欠状況はどのように確認したらいいですか？

A9. 出欠状況は各自で管理してください。個別の状況について、事務局や担任に問い合わせることはできません。なお、カードリーダーで出席をとる授業の場合、機械の読み取りミスが起こる可能性があります。学期途中で事務局から確認を依頼することがありますので、常日頃から各自の状況をしっかり把握しておいてください。

Q10. 単位を修得できなかった場合、どうなりますか？

A10. 各科目に必要な出席条件を満たすことができなくなると、開講途中であっても自動的に定期試験の受験資格を失い、単位を修得できなくなります。また、正当な理由なく定期試験を欠席することによっても単位を修得できなくなります。単位修得数が「科目区分」の要件を満たしていない場合は、翌年度以降に、下級生のために開講されたクラスでの授業に参加せざるを得なくなります。しかし、時間割との関係から、受講すること自体が不可能という事態もあり、進級に影響が出ることを覚悟しなければなりません。科目区分の履修要件に必要な単位数を早期に修得しておけるよう、余裕をもった履修計画を立てましょう。

Q11. ホームルームはないのですか？

A11. 本学は担任制をとっていますが、学生それぞれの時間割が異なるため、学科によっては、クラス単位でのホームルームはおこなわれません。その代わりに、学生に対する諸連絡は基本的に掲示板をとおしておこなわれます。重要な連絡事項を見逃してしまわないよう、毎日の登下校時に掲示板の確認をする習慣をつけてください。なお、学年が進行するにつれ、クラスという単位で実施される活動項目が減り、クラス枠は薄れていくことが予想されます。また、クラス以外にも実習やゼミナールのグループを単位とした連絡事項が発生することもありますので、常に自分の状況を把握しておくようにしましょう。

Q12. 空き時間はどうやって過ごせばいいですか？

A12. 時間割によっては空き時間が発生します。基本的には自由時間となりますので、自習室や図書館などで自習したり、レストランや戸外で休憩したり、友達やサークルの仲間と過ごしたりなど、各自の好きなように使うことができます。なお、演習室や実習室、PC室、体育館の使用を希望する場合は、あらかじめ施設利用の可否を事務局で問い合わせる必要があります。

Q13. 大学の先生は何と呼びかけたらいいですか？

A13. 大学の先生には教授、准教授、講師など、様々な肩書きがあります。しかし、呼びかけるときに区別する必要はなく、みんな「先生」で大丈夫です。メールを送るときも「〇〇先生」としましょう。

Q14. 研究室を訪ねたい場合、どうしたらいいですか？

A14. 質問や相談などで先生の研究室を訪ねたい場合は、自由な訪問が可能なオフィスアワーを活用しましょう。掲示で時間帯を確認し、直接訪ねてください。そ

の他の時間帯を希望する場合は、まずアポイントメントを取りましょう。授業のあとに直接話しかけるか、あらかじめメールや電話などで用件を告げ、先生の都合を確認して日時を調整します。研究室に入る前にはまずノックをし、所属と名前を伝えるのを忘れないでください。

Q15. 大学から直接学生へ連絡が来ることはありますか？

A15. 事務局から手続き状況など確認事項がある場合、学生担当教員から個別の履修状況など連絡・確認事項がある場合、科目担当教員から質問への回答や連絡事項がある場合など、大学から学生個人あてに連絡をすることがあります。基本的には掲示板で学籍番号による呼び出しがおこなわれます。日時が指定される場合もありますので、掲示板の確認を怠らないようにしましょう。なお、緊急度や状況に応じて電話やメールなどで直接に連絡することもあります。大学からのメールや電話を登録し、行き違いにならないよう、すみやかに対応してください。また、電話番号やアドレスの更新時には、連絡を忘れないこと。

Q16. 試験はどのようにおこなわれるのですか？

A16. 試験は各学期に設定されている定期試験期間におこなうことを原則としています。実施期間が近づくと掲示板に日程が発表されますので、事前に確認しておきましょう。出席条件などの受験資格、また試験の受け方などについては、『キャンパスガイド』をよく読んでおいてください。なお、科目によっては試験期間外に試験を実施する場合がありますので、科目担当教員からの指示を逃さないようにしましょう。

Q17. 試験が不合格でした。どうしたらいいですか？

A17. 再試験が設定された科目の場合は、所定の期日までに手続きをおこないましょう。再試験が設定されていない科目の場合は、当該年度にその科目の単位認定

がなされないこととなります。再度その科目の単位修得を希望する場合は、次年度以降に再履修する必要があります。

Q18. 試験を受けられない場合、どうしたらいいですか？

A18. やむない事情によって試験を受けられない状況が発生したら、ただちに科目担当教員に相談しましょう。やむない事情と判断された場合には、所定の手続きを経たうえで追試験を受けることが可能となります。連絡なく試験を受けなかった場合、やむない事情と判断されなかった場合は履修無効とみなされ、単位認定がなされないことがありますので、注意してください。